

◎ **新規に申告する場合** 以下の例にならない、所有する全ての資産を記載してください。

「増加事由」の欄は、
1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受け入れ 4 その他 のいずれかに○

* 所有者コード *		令和 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)					所有者名			1 枚のうち		
記載不要									〇〇〇〇株式会社			1 枚目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※ 課税標準の特例		※ 課税標準額	増加事由	摘要
										率	コード			
1	2	記載不要	ノートパソコン	1	R 03 05	126,000	4						① 2 3・4	
2													1・2 3・4	

取得年号は、必ずアルファベットで記載

耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表を参考に記載

◎ **減少・修正・増加資産がある場合** 前年度までに申告している場合は、全資産があらかじめ印字されていますので、資産の増減・修正等を記載してください。

* 所有者コード *		令和 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)					所有者名			1 枚のうち		
987654321									〇〇〇〇株式会社			1 枚目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※ 課税標準の特例		※ 課税標準額	増加事由	摘要
										率	コード			
1	1	123	外構工事(コンクリート舗装)	1	H 08 11	1,500,000	15		75,000				1・2 3・4	
2	2	495	雑設備	5	H 12 04	1,000,000	6						1・2 3・4	減少
3	6	597	エアコン	1 2	H 05 06	118,000 236,000	6		11,800				1・2 3・4	一部減少
4	6	673	冷暖房機器	1	H 08 11	206,000	7		10,300				1・2 3・4	
5	6	729	テレビ ブラズマテレビ	1	H 15 03	900,000	5		45,000				1・2 3・4	修正
6	2		太陽光発電設備	1	R 3 3	12,000,000	17		2,195,554				① 2 3・4	再生可能エネルギー特例
													1・2 3・4	

資産コードは深谷市における償却資産課税台帳に登録されている資産のコードです。申告する方が独自に管理しているコードとは異なります。

摘要欄

- 一部減少や修正の場合は、修正箇所がわかるようにその旨明記してください。
- 課税標準の特例に該当する場合は、特例の略称等を明記してください。

資産の種類	
1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

○資産の種類は左記の区分にしたがって

※ 独自の資産管理システム等による減少資産明細を用いて申告する場合は、必ず種類別明細書の「資産コードを転記」してください。

※ 平成20年度の税制改正で、「減価償却の耐用年数等に関する省令」が改正され、機械及び装置を中心に資産区分の見直し、耐用年数の変更が行われましたので、ご注意ください。